令和8年度　川越北小学校学校づくりビジョン

教育目標　心ゆたかでたくましく、自ら学ぶ意欲にあふれた子どもの育成

【めざす教師の姿】
- ○学力を高める授業を目指す教師
- ○一人ひとりに寄り添い、もてる力を引き出す教師
- ○自己研鑽に努め、保護者や地域から信頼される教師
- ○同僚性を大切にし、ともに高め合う教師

【めざす子どもの姿】
- ○自ら学ぶ子　○人を大切にする子　○健康で頑張りぬく子
- ○自ら考え・繋がり・行動する子　○目標をもち挑戦する子

非認知能力（未来を切り拓く資質・能力）の育成

【めざす学校の姿】
- ○友だちと学ぶことが楽しい学校
- ○誰もが安心して過ごすことができる学校
- ○保護者や地域とともにある学校
- ○教職員が同僚とともに歩み、成長しあえる学校

①　学力の向上

○豊かに学び合う子どもの育成
- ・**誰ひとり取り残さない授業づくり（全員の学習参加）**
- ・問題解決型学習の導入と**学び合い活動の深化**
- ・言語活動の充実と ICT(タブレット)の効果的な活用
  （思考力・判断力・表現力の育成）

◎自ら学ぶ子どもの育成
- ・基礎・基本的な学力の定着をめざした指導体制の工夫と朝の学習時間の活用
- ・各種調査等による課題把握と指導方法の改善
- ・**家庭学習の定着と読書活動の推進**
  （家庭学習週間、朝の読書・図書館まつりの実施）

○持続可能な社会づくりへ参画する子どもの育成
- ・**生活科・総合的な学習における探究的な学びの推進**
- ・**書くこと（振り返ること）**の指導の充実

②　豊かな心の育成

◎きまりを守り、なかまと協力する子どもの育成
- ・時間を守る・清掃等、基本的な学習・生活習慣の定着
- ・地域・保護者と連携した登下校の安全指導
- ・発達段階に応じた情報モラル教育

◎自分の強みを活かし、働く子どもの育成
（自己肯定感・自己有用感の向上）
- ・委員会・学校行事等による**魅力ある学校生活づくり**
- ・学級活動・異学年交流等によるリーダーの育成

◎いじめを許さない子どもの育成
- ・人権・同和教育・道徳教育の充実
- ・QU 調査等による実態把握と安心して学べる**なかまづくり**

○夢（目標）をもち挑戦する子の育成（キャリア教育）
- ・人との出会いを通した学びの充実
- ・**挨拶運動の継続とその場に相応しい言葉づかいの指導**

③　健康・体力の向上と危機回避能力の育成

◎ 運動好きな子どもの育成

◎目標に向かい粘り強く取り組む子どもの育成
- ・**運動の日常化に向けた環境（仕掛け）づくり**
- ・各種調査等による課題把握と指導方法の改善
- ・体育的行事を核にした体力づくり

○ 自ら考え・行動し、自分の命を守る子どもの育成
- ・安全・安心な教育環境の整備
- ・計画的な防災教育、避難訓練、緊急対応訓練等の実施
- ・保護者と連携した防災・防犯意識、安全意識の醸成
  （引き渡し訓練の実施、交通安全教室の発信）

◎命や身体を大切にする子ども（自己管理能力）の育成
- ・保護者と連携した**より良い生活習慣作り**
- ・養護・栄養教諭と担任の連携した保健指導・食育指導
- ・心の教育、性教育の充実

◎は特に重点的に取り組む内容

町の重点取組
『豊かな心』を土台とした学校教育の推進

④　地域とともにある学校づくり

◎地域の教育力活用による体験的な学習の充実
- ・**地域教材を活用した創造的な教育実践の推進**
- ・保護者・地域の声を生かした教育改善

○安心・安全な学校をめざしたチーム学校体制**の構築**
- ・通学路の安全の確保

◎運営委員会を中心とする組織力強化と協力体制づくり
- ・指導部や学年団による諸課題への組織対応
- ・積極的な情報発信（学校公開日や学校だより、HP 等）

○健康でやりがいをもって働ける職場環境整備
- ・**保護者、地域との信頼関係づくり**と定時退校日の発信
- ・教職員の意識改革と超過勤務時間の削減
- ・教育的価値による業務見直しと ICT 活用による校務の効率化

⑤　教職員の資質向上と支援体制の充実

◎研修活動の充実（研修の日常化、授業を開く）
- ・研修主題に基づく計画的な授業研究（１人１回公開）
- ・大学連携・学力向上アドバイザーによる研修

◎同僚性の構築と OJT の推進
- ・各種研修会・先進校視察等への積極参加と校内還元
- ・ミニ研修会の実施

◎ 特別支援教育の推進と不登校・日本語指導を必要とする児童等への校内支援体制の充実
- ・**学校教育環境や授業のユニバーサルデザイン化**
- ・関係機関や SC・SSW との連携による教育相談体制の充実
- ・特別支援教育や教育相談に関する校内研修会の実施
- ・**教職員間での支援内容の共有と支援体制づくりへの協力**